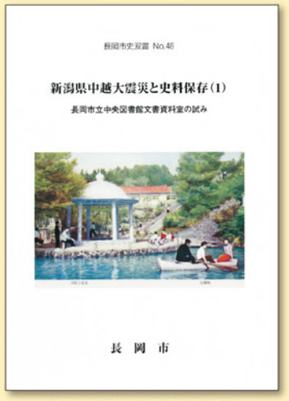
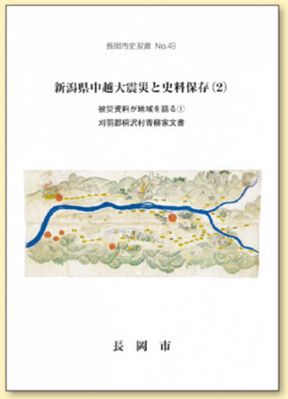
長岡市立中央図書館文書資料室 長岡市災害復興文庫 刊行物

長岡市史双書 №48
新潟県中越大震災と史料保存(1)
長岡市立中央図書館文書資料室の試み



H21発行　B5判・223頁
1,500円

長岡市史双書 №49
新潟県中越大震災と史料保存(2)
被災資料が地域を語る①　刈羽郡桐沢村青柳家文書



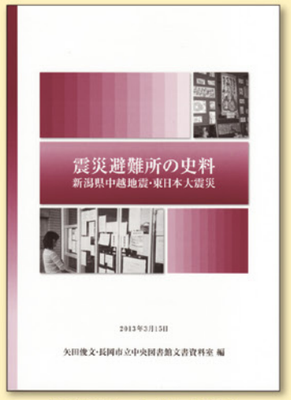
H22発行　B5判・218頁
1,500円

山古志の文書と民具



H24発行　A4判・143頁
1,000円

震災避難所の史料
新潟県中越地震・東日本大震災



H25発行　A4判・75頁
500円

リレー講演会
「災害史に学ぶ」記録誌



H27発行　A4判・307頁
1,000円

新潟県中越地震・東日本大震災と
災害史研究・史料保存
―長岡市災害復興文庫を中心に―

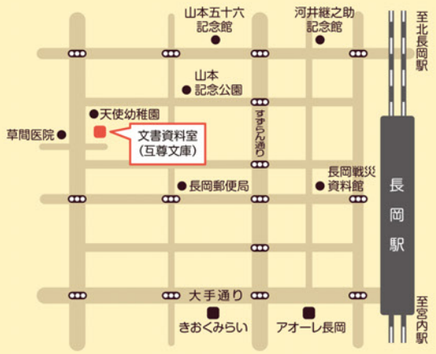


H28発行　A4判・83頁
500円

長岡市立中央図書館文書資料室で購入できます。郵送で購入の場合は、頒布価格の金額を現金書留または定額小為替で長岡市立中央図書館文書資料室へお送りください。別途送料が必要です。購入方法等の詳細はホームページをご覧ください。

長岡市立中央図書館文書資料室

〒940-0065 新潟県長岡市坂之上町3-1-20（長岡市立互尊文庫2階）
TEL 0258-36-7832　FAX 0258-37-3754
http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/?page_id=134
開館時間：午前9時30分から午後5時まで
休 館 日：木曜日（祝日の場合は翌日）、日曜日
　　毎月の末日、12月29日～1月3日
　　互尊文庫の特別図書整理期間
アクセス：長岡駅大手口から徒歩10分［駐車場あり（互尊文庫と共用）］



令和２年３月 31 日発行

長岡市災害復興文庫

みんなでつくる市民のふみくら



平成16年（2004）10月23日、新潟県中越大震災が発生しました。長岡市立中央図書館文書資料室は、地震発生直後から被災した歴史的資料の救済と震災関連資料の収集を二本柱に災害対応を行っています。平成26年10月、10年間の活動成果として「長岡市災害復興文庫」を開設しました。「長岡市災害復興文庫」の取り組みとは、災害・復興に関する文書資料を集積し、市民協働と関係機関・団体との連携によって保存・活用する試みです。

長岡市立中央図書館文書資料室

長岡市災害復興文庫とは

「長岡市災害復興文庫」は、「被災歴史資料」、「災害復興関連資料」、「歴史公文書」の３つの文書資料群で構成され、令和２年３月現在で約50,000点を所蔵しています。

災害と復興の記録は、市民共有の財産となる経験・教訓に満ちています。学校・地域の防災・減災に向けた様々な取り組み、歴史研究・歴史教育の素材などへの活用も始まっています。「長岡市災害復興文庫」は、自然災害と向き合う現代の人々の経験・記憶を未来へ伝えていく役割を担っていきます。

ポイント その1

資料整理ボランティアと市民協働

長岡市資料整理ボランティアは、新潟県中越大震災で被災した歴史資料を整理することを目的として、平成17年（2005）10月に活動を開始しました。月に1、2回のペースで、家屋・土蔵から救出した古文書等の「被災歴史資料」、地震発生後の新聞資料、避難所の掲示物・配布物等の「災害復興関連資料」の整理を行っています。また、県内の資料整理ボランティア団体との交流研修会や、襖下張り文書剥離作業体験講習会などを開催しています。活動のモットーは、「楽しく学ぶ」です。自分のペースにあわせて気軽に参加することができます。主に長岡市民で構成され、随時メンバーを募集しています。「長岡市災害復興文庫」は、市民協働でつくられています。



ポイント その2

全国の関係機関・団体と連携

国立国会図書館「東日本大震災アーカイブひなぎく」、新潟大学災害・復興科学研究所、新潟歴史資料救済ネットワーク、新潟県立文書館、新潟県立歴史博物館、神戸大学附属図書館、ふくしま震災遺産保全プロジェクト実行委員会、南相馬市立中央図書館、（公社）中越防災安全推進機構をはじめとする関係機関・団体と連携しています。

新潟県長岡市
市制施行：明治39年（1906）
面　　積：891.06㎢
人　　口：268,450人
世 帯 数：108,251世帯
（令和２年３月１日現在）

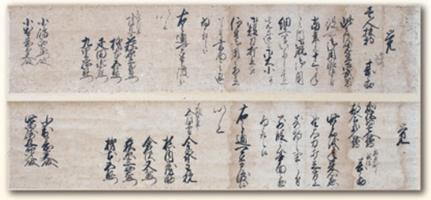
新潟県中越大震災（新潟県中越地震）
発　　生：平成16年（2004）10月23日（土）午後５時56分
震 源 地：新潟県北魚沼郡川口町（現長岡市川口地域）
地震の規模：最大震度７、マグニチュード6.8
人的被害：死者68人／重軽傷者4,795人
住家被害：121,604棟／130,077世帯



被災歴史資料

廃棄・散逸防止の呼びかけによる相談や歴史資料所在確認調査によって土蔵・家屋から救出された歴史資料です。令和２年３月現在で約29,000点の古文書等の歴史資料を所蔵しています。









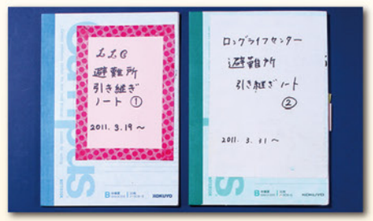


歴史公文書

長岡市役所の公文書のうち、新潟県中越大震災以降に保存年限が満了したものを引き継ぎ、災害・復興に関する歴史公文書として収集しています。

災害復興関連資料

新潟県中越大震災、新潟・福島豪雨（平成16年7月）、新潟県中越沖地震（平成19年7月）、東日本大震災（平成23年3月）に関する文書資料や写真・図書です。令和２年３月現在で約21,000点の避難所、学校、コミュニティセンターなどからの収集資料を所蔵しています。











ポイント その3

展示会で経験・教訓を発信

「被災歴史資料」と「災害復興関連資料」は、展示会で活用されています。平成26年度は中越大震災10周年企画展「災害と復興をかたりつぐ」、平成27年度は長岡市災害復興文庫展2015「楽しく学ぶ！～長岡市資料整理ボランティア10年のあゆみ～」、平成28年度は長岡市災害復興文庫展2016「長岡と福島・南相馬～絆の記憶と記録～」を長岡市立中央図書館で開催しました。



ポイント その4

長岡市災害復興文庫の閲覧・視察

長岡市立中央図書館文書資料室の開館日に閲覧することができます。閲覧方法はホームページでご確認ください。事前の依頼があれば、専門職員が活動説明や施設紹介などの視察に対応します。

長岡市内には「長岡震災アーカイブセンターきおくみらい」、「やまこし復興交流館おらたる」、「川口きずな館」もあります。あわせてご利用ください。

